

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月16日更新

事務事業名	学童保育指導員健康診断助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中嶋 万喜
計画	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 二瀬 義継
体系	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2312
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10570	法令根拠	熊本県学童保育指導員衛生安全対策事業補助金交付要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
成果優先度評価結果		①					
コスト削減優先度評価結果		⑥					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学童保育クラブの指導員の健康診断を委託により実施。 ・学童クラブ指導員の健康診断を行うことにより、子どもの健康に対する安心な預かりを推進する目的で開始された。 ・県の児童環境づくり基盤整備事業補助金から平成19年度から国の放課後子どもプラン事業補助金へ移行された。 ・入所児童数の増加に加え、発達障がい等特別に支援が必要な児童も増えており、指導員の肉体的、精神的な負担が大きくなっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①事業計画打合せ ②事業施行伺い ③委託契約伺い ④委託契約締結 ⑤実績報告書・請求書受付、審査 ⑦支払い事務(支出負担行為・支出命令書)
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	・学童クラブからは、入所児童数の増加に加え、発達障がい等特別に支援が必要な児童も増えており、指導員の肉体的、精神的な負担が大きくなっており、直接保育に携わる指導員の健康管理のために継続をお願いしたとの意見が出ている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
学童保育クラブ指導員の健康診断を菊池養生園委託により実施した。延べ人数 32人	学童保育クラブ指導員の健康診断を菊池養生園委託により実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:健康診断を受けた指導員数	→ イ: 健診受診申込実績による減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
学童クラブ指導員	→ ア:対象指導員の数 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
学童クラブ指導員の健康管理ができる。	→ ア:受診率(受診者数/対象学童保育指導員数) (単位) %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
対象の指導員に対して受診できた指導員の割合として設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込	
① 活動指標	ア	人	22	28	40	32	40	0	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	37	44	47	47	50	45	45	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	59.4	63.6	85	68	85	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	160	74	94	80	94	94		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	3	132	259	237	220	259	259	0
		(A)のうち指定経費	千円	163	206	353	237	300	353	353	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	2	2	3	2	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	30	25	18	50	20	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	123	100	72	203	80	0	0	0		
	千円	286	306	425	440	380	353	353	0		

事務事業名	学童保育指導員健康診断助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 健康診断を希望する指導員の大部分が受診することができたため達成できた。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 健康診断を希望する指導員の全員が受診することができるようにしているため達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 受診率の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指導員の健康管理であるため他に手段が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国の規定する事業であるため国にゆだねられる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員でやっており削減余地が無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学童クラブの指導員に限定した国の事業であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の規定する事業であり、収益等も望めないため市が行う必要があり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

健康診断を希望する指導員の大部分が受診することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						